

株主の皆様へ

第51期中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日

Safety & Relief

安全安心な素材と
ライフスタイルとの調和

快適Life



南海プライウッド株式会社



安全安心な素材と
ライフスタイルの調和 快適 Life

会社概要

(平成15年9月30日現在)

商号	南海プライウッド株式会社
本社	〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号 電話 087(825)3615(代表) Eメール np@nankaiplywood.co.jp http://www.nankaiplywood.co.jp
設立	昭和30年4月
資本金	21億21百万円
代表者	代表取締役社長 丸山 徹(まるやま とおる)
事業内容	建築内装材の製造・販売
事業所	志度工場 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地 物流センター 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1 朝日新町保税倉庫 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第51期中間事業報告書(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)をお届けするに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期のわが国経済は、株価の上昇や企業業績の改善を背景に多少の明るさは見えてきましたが、依然として雇用状況は低迷し、個人消費も上昇せず、景気はデフレ経済のなか厳しい状況で推移いたしました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数の低迷状態が続くなか、住宅リフォーム市場への期待感から建材メーカー各社がリフォーム製品の開発・販売に力を注ぎ一段と競争が激化いたしました。

このような状況下、当社は、経営環境の変化に迅速に対応できる経営機構に変えるため、執行役員制度を導入し業務執行の強化を図りました。また、改正建築基準法が施行された事に伴い、全製品を規制に適合した製品に切り替えております。さらに、海外関連工場の指導を強化し、品質の安定した原材料ならびに製品の輸入ができる体制の再構築を行なうなど、全社挙げての品質改善に努めました。

景気は、若干の回復傾向を示し始めたとはいえ、まだまだ予断を許さない状況で推移していきと思われまます。

当社といたしましては、今後とも皆様のご期待に応えるべく、一層の経営基盤の強化充実と収益向上に努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご支援ご鞭撻を賜わりま
すようお願い申し上げます。

平成15年12月



代表取締役社長

丸山 徹

経営の基本方針

当社は、「経営ならびに製品の独自性と安定成長」を基本理念に、変化する外部環境に対して柔軟に対応できる経営体制のもと、メーカーの使命である製品の安定供給を続けていきます。そのために、原材料仕入先である東南アジアに重点をおき、現地の子会社ならびに協力工場に対して技術的援助を行い、相互協力のもとに長期的な友好関係を築き、質・量・価格面での安定的な調達を実現していきます。また、市場ニーズを先取りし固有の木材加工技術を駆使したオリジナル製品の開発により、顧客満足度の高い住宅内装材メーカーを目指しております。

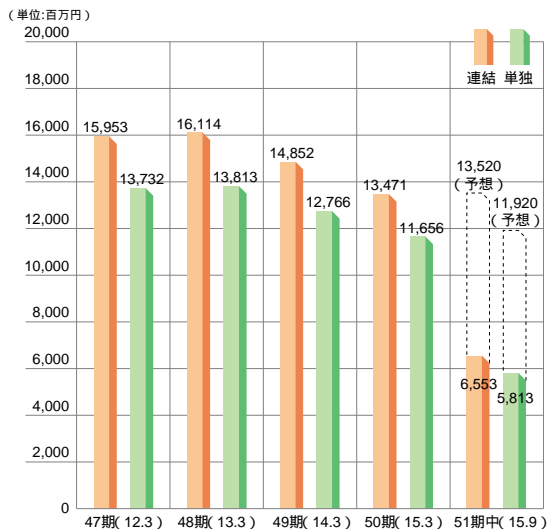
利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、長期的な視野に立ち、将来の事業展開と財務体質の強化を考慮し、内部留保とのバランスを考えた安定的な配当を行うことを基本としております。

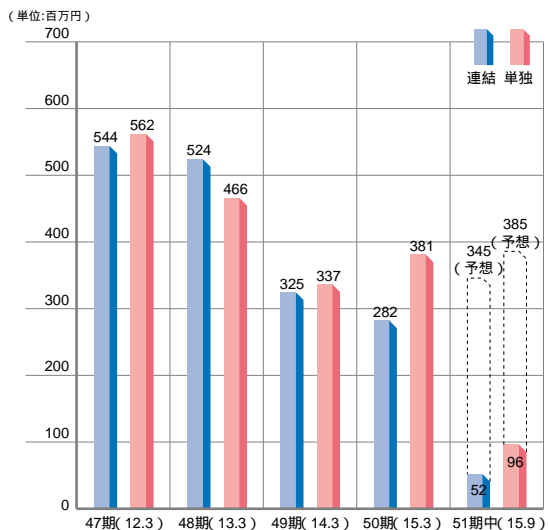
中長期的な会社の経営戦略

当社製品の販売に大きく影響をおよぼす新設住宅着工戸数は、近い将来年間100万戸を割ることが予想されております。また一方では、住宅のリフォーム事業が今後新たな市場として期待されております。このような状況をふまえて当社は、資材の調達、製品の開発、販売先の開拓を進めていく所存であります。今後ますます激化する企業間競争を想定し、更なる製品のコストダウンを図るため、東南アジアの子会社ならびに協力工場に対して技術指導をおこない、資材の供給に加えて、製品の生産も国内工場と同レベルで加工して日本に輸入できるよう生産体制の整備を行なっていきます。また、国内工場においても生産効率と品質の安定を追求し、安心して使用できる住宅内装材として顧客満足度の高い製品を供給することにより、シェアの拡大ならびに収益の確保を目指していく方針であります。

売上高の推移



経常利益の推移



当中間期の概況

当中間期の業績

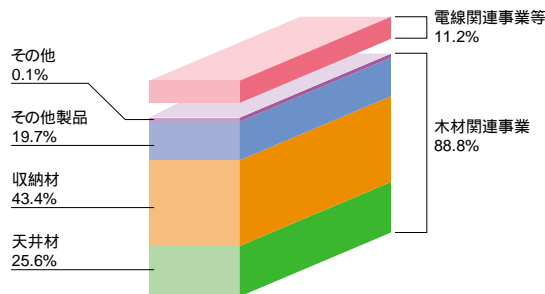
当中間期のわが国経済は、株価等に若干の明るさは見えてきましたが、改善の見られない雇用情勢やデフレ経済の長期化により、景気は停滞状況から抜け出せず、前期に引き続き厳しい状況で推移いたしました。こうしたなかで、新設住宅着工戸数は低調のなか、住宅ローン減税の改正による駆け込み需要の影響もあり、前年同期に比べ0.9%増の602千戸となりました。

このような状況下、当社の連結業績は、木材関連事業、電線関連事業等とともに一段と競争が激化するなか売上目標達成に向け懸命に努力いたしました結果、売上高は、65億53百万円（前年同期比1.1%増）となりました。営業利益は、コストの削減に努め、特に海外子会社の原価率改善に取り組みましたが、13百万円の営業損失（前年同期営業損失64百万円）となりました。経常利益は、為替変動による為替差損を計上しましたが賃貸不動産による収入などにより52百万円（同経常損失19百万円）となりました。中間純利益は、9百万円（同中間純損失2億70百万円）となりました。

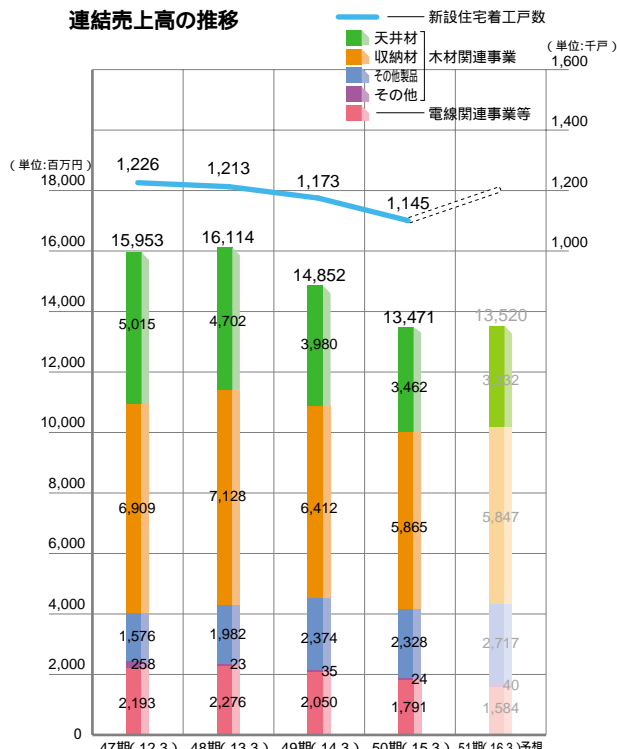
連結子会社

社名	資本金	出資比率	
P.T NANKAI INDONESIA	250万USDドル	95%	木材 関連事業
SENTUHAMONI SDN.BHD	25万マレーシア リンギット	100%	
南海システム作業株式会社	1,000万円	100%	
南海港運株式会社	4,100万円	100%	
ナンリツ株式会社	4,500万円	70%	電線 関連事業等

セグメント別の連結売上高構成



連結売上高の推移



注) 上記の連結売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を消去した後の金額にて表示しています。

事業の種類別セグメントの業績

●木材関連事業

新設住宅着工戸数の低迷による売上の減少を補い、拡大期待感から、潜在需要の非常に大きな住宅のリフォーム市場が注目され、建材メーカー各社がリフォーム製品の開発・販売に力を注ぎ、熾烈な販売競争が繰り広げられております。当社もこのリフォーム需要に対応した製品の開発に取り組み、製品の品揃えを充実させ、拡販に傾注いたしました。また、既存製品の品質改善に努め、顧客満足度の向上による売上確保を目指した結果、売上高は、2.3%前年同期を上回りました。製品分類別には、前年同期に対し天井材は6.6%減少と未だ減少傾向に歯止めがかかっておりませんが、収納材は0.5%減少となり、床材は拡販効果により19.6%増加となりました。

利益面では、全社あがりのコストダウンに取り組むとともに滞留在庫製品の販売・処分にも努めました。改正建築基準法の施行に伴う製品の切り替え生産により、期末在庫は期首在庫に比べ増加いたしました。以上の結果、当セグメントの業績は、売上高58億18百万円(前年同期比2.3%増)、営業損失3百万円(前年同期営業損失43百万円)となりました。

●電線関連事業等

公共建設投資や民間設備投資の一層の落ち込みによる企業間競争の激化により、極めて厳しい状況で推移いたしました。受注獲得のため、地域密着型の営業活動を積極的に展開し、既存のお客様の深耕や新規のお客様の開拓を推進してまいりました。この結果、当セグメントの業績は、売上高7億34百万円(前年同期比7.8%減)、営業損失8百万円(前年同期営業損失15百万円)となりました。

通期の見通し

わが国経済は、株価の上昇ならびに経済指標による回復傾向から景気は持ち直しに向けた動きが出てきておりますが、当期は厳しい経営環境で推移するものと予想しております。

このような状況下、新設住宅着工戸数は低調に推移するなか、木材関連事業、電線関連事業等ともに競争激化の厳しい状況が続いていくと思われます。この状況に立ち向かい、販売戦略を

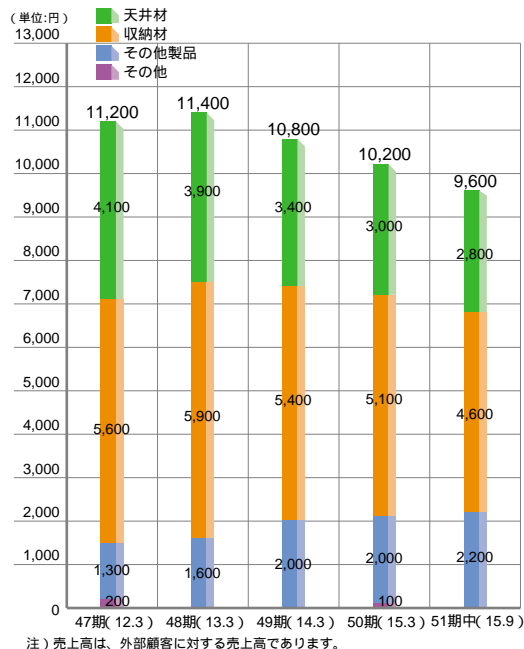
効率的に実行し目標数字の達成に全力を投入していきます。

通期では、連結売上高135億20百万円(前期比0.4%増)、営業利益2億55百万円(同37.8%増)、経常利益3億45百万円(同22.0%増)、当期純利益1億90百万円(前期当期純損失1億14百万円)になるものと予想しております。

重要視している経営指標

当社は、住宅着工戸数の変動に業績が大きく左右される傾向にあるため、住宅着工戸数の低迷下においても、外部環境に左右されず安定的な収益が確保できるようシェアの拡大を目指しており、住宅着工一戸当たりの販売金額増加を経営上のひとつの指標としています。

新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



商品のご紹介

パーツセレクト収納

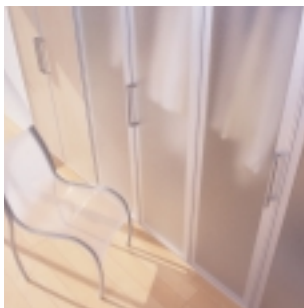
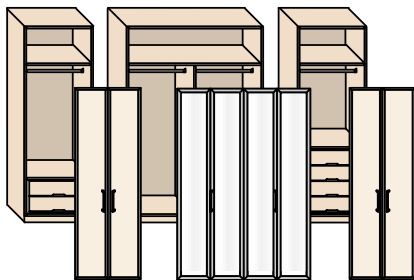
ウォールゼット イブ

WALLZET eV

収納革命

表から見えない収納内部にはあまり手をかけず、使い方はお施主様任せ。という考えは通用しなくなりました。

高いデザイン性を生かした見せる収納、居室ごとの使用に合わせてられるフリープラン収納、入居後もお施主様で自由に組み替えできる可変収納。昨今、新発想の収納が次々と開発、商品化されています。



Simple Design & Simple Function



南海 NewWave

このような業界の動きに当社も素早く対応し、デザイン性が高く、付加価値のある収納材を展開しております。

その中の一つ Wallzet eV(ウォールゼット イブ)は、規格サイズのボックスにお好みの収納パーツ、扉をチョイスして施工する新システム収納。組み込み施工以外に、間仕切りや、置き家具としても使用できます。扉はアルミフレームを使ったシンプルで、モダンにもカジュアルにもコーディネートが可能です。

今までの南海商品には無かったスタイリッシュな収納材にご期待ください。

新商品のご案内

南海アートフロアー21 リブルシリーズ

高級感を漂わせるつややかな光沢と、ハイコーティング塗装による重厚感が特徴の「南海アートフロアー21 リブルシリーズ」が、2004年1月より発売予定。

基材に高比重ボード複合合板を採用し、耐傷性が向上。今までにない耐摩耗性能に優れた床材を実現しました。また、熱耐久試験でも優れた結果がでており、床暖房仕上げ材としても最適です。基材には、シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの放散量が極めて少ないF 複合3種フローリングを使用し、体の健康と安全に配慮しています。

さらに新しくホワイト色・ブラック色が加わり、豊富なカラーバリエーションで多彩なニーズにお応えできる画期的なフロアーと言えます。



Nankai Plywood
Topics



海外子会社 J A S 認定 取得



当社の子会社としてインドネシアのスラバヤに工場を持っておりますPT・NANKAI INDONESIA(木材加工業)において、このたびJAS認定を取得いたしました。

当子会社では、当社で原材料として使用する製材品と当社の収納材製品を生産しております。

改正建築基準法により規制が強化されましたホルムアルデヒド放散量の最上位基準をクリアし、F (フォー・スター)の製品への表示が可能となりました。

この取得により、国内生産製品と同じく海外生産製品もお客様に安心してご使用いただけます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

【資産の部】

科目	期別	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)
流動資産		7,498	6,733
現金及び預金		751	1,429
受取手形及び売掛金		2,308	2,463
棚卸資産		2,791	2,376
デリバティブ債権		273	97
その他の流動資産		1,374	370
貸倒引当金			4
固定資産		13,245	12,689
有形固定資産		9,806	9,885
建物及び構築物		2,920	2,952
機械装置及び運搬具		1,894	1,969
工具器具備品		105	113
土地		4,765	4,765
建設仮勘定		120	84
無形固定資産		318	295
投資その他の資産		3,120	2,508
投資有価証券		873	692
長期貸付金		13	15
その他の投資		2,276	1,849
貸倒引当金		43	49
資産合計		20,744	19,423

【負債の部】

科目	期別	当中間連結会計年度 (平成15年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)
流動負債		4,460	3,122
支払手形及び買掛金		1,306	1,392
短期借入金		1,296	977
未払金		275	273
未払法人税等		104	33
未払消費税等		52	37
賞与引当金		120	79
工場稼働停止損失引当金		177	173
繰越ヘッジ利益			97
その他の流動負債		1,126	58
固定負債		676	683
長期借入金		48	56
退職給付引当金		250	269
役員退職慰労引当金		61	87
その他の固定負債		314	270
負債合計		5,136	3,805

【少数株主持分】

少数株主持分	18	20
--------	----	----

【資本の部】

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,436	11,528
その他有価証券評価差額金	228	120
為替換算調整勘定	57	35
自己株式	4	3
資本合計	15,589	15,596
負債、少数株主持分及び資本合計	20,744	19,423

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計年度 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間連結会計年度 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
売上高		6,553	6,482
売上原価		4,829	4,722
売上総利益		1,723	1,760
販売費及び一般管理費		1,737	1,825
営業利益(損失)		13	64
営業外収益		87	83
営業外費用		22	38
経常利益(損失)		52	19
特別利益		8	4
特別損失		12	373
税金等調整前中間純利益(損失)		48	388
法人税、住民税及び事業税		104	22
法人税等調整額		61	134
少数株主損失		4	6
中間純利益(損失)		9	270

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計年度 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間連結会計年度 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		554	704
投資活動による キャッシュ・フロー		310	49
財務活動による キャッシュ・フロー		209	443
現金及び現金同等物に 係る換算差額		20	2
現金及び現金同等物の 増減額		675	214
現金及び現金同等物の 期首残高		1,422	910
現金及び現金同等物の 中間期末残高		746	1,125

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計年度 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前連結会計年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
利益剰余金期首残高		11,528	11,778
利益剰余金減少高		100	135
配当金		100	121
役員賞与			14
中間(当期)純利益(損失)		9	114
連結剰余金中間期末(期末)残高		11,436	11,528

株主資本比率

75.2%

ROE/株主資本中間純利益率

0.06%

1株当たり株主資本

1,546円

個別財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

【資産の部】

科目	期別	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
流動資産		6,622	5,692
現金・預金		380	884
受取手形・売掛金		1,940	1,647
棚卸資産		2,396	2,118
その他		1,905	1,042
固定資産		13,642	13,017
有形固定資産		8,494	8,646
建物		2,450	2,537
機械装置		1,634	1,681
土地・その他		4,409	4,427
無形固定資産		224	213
投資等		4,923	4,157
投資有価証券		764	584
長期貸付金		1,878	1,743
その他		2,280	1,829
資産合計		20,265	18,710

【負債の部】

科目	期別	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
流動負債		3,957	2,465
支払手形		409	421
買掛金		434	393
短期借入金		1,280	960
未払金		265	259
その他		1,567	431
固定負債		602	602
長期借入金		-	-
その他		602	602
負債合計		4,559	3,067

【資本の部】

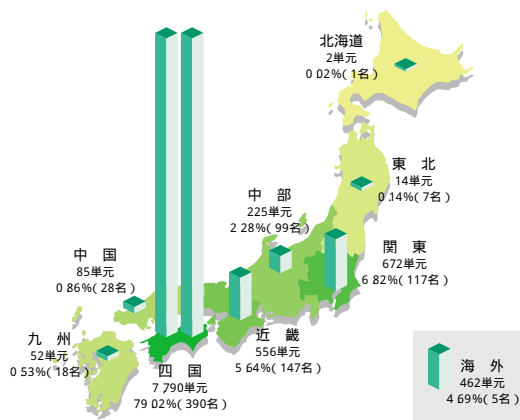
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,500	11,544
[うち中間(当期)利益]	[56]	[2]
評価差額金	222	114
自己株式	4	3
資本合計	15,705	15,642
負債・資本合計	20,265	18,710

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
営業収益		5,813	5,668
営業費用		5,763	5,637
営業利益		50	31
営業外収益		101	97
営業外費用		55	58
経常利益		96	70
特別利益		6	
特別損失		5	370
税引前中間利益(損失)		96	299
法人税・住民税及び事業税		102	2
法人税等調整額		62	125
中間利益(損失)		56	175
前期繰越利益		53	26
中間未処分利益(損失)		110	148

【地域別分布状況】



(1単位 = 千株)

株式の状況

(平成15年9月30日現在)

【総数】

会社が発行する株式の総数20 000 000株

ただし、株式の消却が行われた場合は、これに相当する株式数を減ずる。

発行済株式総数10 095 800株

株主総数887名(前期末比8名減)

【大株主】

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	3 093千株	31.44%
財団法人南海育英会	1 588	16.14
株式会社百十四銀行	491	4.99
メロパソク トリーター クリアソム オムバス	374	3.80
丸山 修	344	3.49
株式会社愛媛銀行	243	2.47
南海プライウッド従業員持株会	160	1.62
北 中 照 夫	130	1.32
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.30
武 政 俊 明	79	0.80

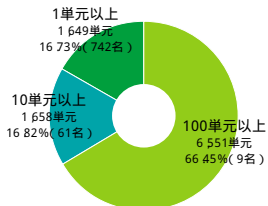
【自己株式の取得・保有】

保有自己株式数15千株

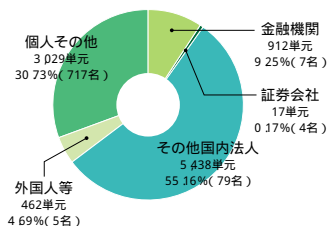
第50回定時株主総会決議による取得

単元未満株の買取による取得15千株

【所有単元数別分布状況】



【所有者別分布状況】



従業員の状況

(平成15年9月30日現在)

区分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男	224名	3名増	35.1歳	9.6年
女	130名	3名増	38.2歳	10.3年
合計	354名	6名増	36.2歳	10.0年

役員

(平成15年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役兼執行役員	濱野 勝
代表取締役専務	山口 時弘	取締役兼執行役員	藤村 岳志
常務取締役	嶋内 幸秀	取締役兼執行役員	正箱 孝史
常務取締役	田井 雅士	取締役兼執行役員	丸山 宏
常務取締役	植田 幹夫	常勤監査役	高松 幸雄
取締役相談役	丸山 修	監査役	水野 正
取締役兼執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役兼執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
名義書換代理人	株式会社だいこう証券ビジネス
名義書換取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 株式事務各種問合せ ・フリーコール電話番号 0120-255-100 株式関係手続用紙請求先 ・フリーコール電話番号 0120-351-465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
公告の方法	日本経済新聞に掲載いたします。 ただし、商法特例法第16条第3項に定める 貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は、 http://www.nankaiplywood.co.jp/kai/kej/k-top.htm において提供しております。



Safety & Relief

安全安心な素材と
ライフスタイルの調和 快適 Life

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています